

自然再生活動便り

令和元年6月



写真 クガイソウに訪花したトラマルハナバチ

みちのく自然共生園の自然再生ボランティア活動では、東北地方らしい自然豊かな里地の自然を再生する活動を展開しています。この場所にわずかに自生していたサクラソウの保全を軸に、その生育地である半自然草原の再生に取り組んでいます。特に、サクラソウの花粉を運ぶトラマルハナバチがほとんどいないため、ハナバチを呼び戻す、四季折々の野草が咲く花野の再生に力を注いでいます。

●モニタリング（6月2日）●エクスカージョン（6月4日）

- ・モニタリングでは、展望野草園やサクラソウ園のクローバー、ヒメジョオンの除草、オキナグサの播種やサクラソウ苗の植付け等を行うことにしました。
- ・エクスカージョンは、安比高原で放牧によるノシバ草原の復元に取り組む活動を見学に行きました。まだ、馬の放牧ができていない自然共生園の放牧地と同じコンセプトですが、実例を見ることで状況や放牧の効果が理解ができ、大変参考になりました。馬はとても人懐っこく調教されています。



写真 モニタリング



写真 エクスカージョン

●サクラソウポット苗植付け（6月3日）●サクラソウ採種、精選（6月23日、24日、30日）

- ・昨年播種したサクラソウのポット苗を展望野草園等に植え付けました。
- ・5月に人工授粉をしたサクラソウの採種を行いました。800ポット分くらい採種できました。



写真 サクラソウの採種作業



写真 種子の精選作業

●外来種等の除草（6月2日、17日、23日、30日）●オキナグサ等野草播種（6月9日）

- ・展望野草園のクローバーやヒメシオン等、花が目立つ種類を優先して除草しました。
- ・展望野草園の頂部平坦地にオキナグサを播種しました。そのほか、ウスギタンポポ、オカオグルマの種子をポットに蒔きました。両種とも川崎町では50株ほどしか残っていません。



写真 クローバー等の除草



写真 オキナグサの播種

●自然塾（6月19日）●生き物調査（6月23日）●ホタル保全作業（6月24日）

- ・自然塾は秋に予定しているきつねの行列で使う蓑を、チガヤとアゼスゲで作りしました。
- ・生き物調査では、ヒョウモンチョウ類やシリアゲムシ、ヤブキリ等を観察しました。



写真 自然塾でつくった蓑



写真 クリの花に集まる虫を探す生き物調査隊